



津軽地方 史跡 弘前城 (弘前市)

広さ約49.2ha、東京ドーム10個分以上の敷地を誇る弘前公園内に位置する弘前城。江戸時代以前に建設された天守である「現存十二天守」としては東北に唯一残る貴重な天守です。

詳しい情報は
こちらから➡



※現在は曳屋工事のため、本丸の内側に天守が移動しています。

津軽地方 太宰治記念館「斜陽館」 (五所川原市)

津島源右衛門(太宰治の父)が建築した宅地約680坪の豪邸です。戦後になってから津島家が手放し、1950年から旅館「斜陽館」として町の観光名所となりましたが、1996年に旧金木町が買い取り、現在の記念館となりました。



詳しい情報は
こちらから➡



津軽地方 弘前市の洋館めぐり (弘前市)



独特な津軽の文化を育てる為に、さまざまな技術や西洋文化を取り入れた津軽藩。明治・大正期に建てられた洋風建築には津軽独特の特徴を見ることが出来ます。

詳しい情報は
こちらから➡



津軽地方 津軽三味線会館 (五所川原市)

展示室では津軽三味線の歴史や民謡、郷土芸能等を紹介。津軽三味線の生演奏もあり、事前予約でプロから津軽三味線の体験指導(有料)を受けられます。

詳しい情報は
こちらから➡



南部地方 史跡 根城の広場 (八戸市)

1334年に南部師行により築城されたと伝えられる城跡です。根城跡の発掘調査で発掘された多数の歴史的資料をもとに復元されました。

詳しい情報は
こちらから➡



南部地方 法光寺 (南部町)



今から700余年前(鎌倉時代)北条時頼が、奥州行脚の旅にのぼった時、名久井岳の山容に魅せられて山麓に法光寺を開基したと伝えられています。承陽塔は木造の三重の塔としては国内最大級で、曹洞宗の東北屈指の名刹。

詳しい情報は
こちらから➡



下北地方 円通寺 (むつ市)

斗南藩の仮館として藩庁が置かれた場所。松平容保、容大両公が起居を共にしており、容大公愛玩の布袋像などが保存されています。1890年、円通寺の境内に会津藩士の招魂碑が建てられました。

詳しい情報は
こちらから➡



歴史